

省工ネ診断実施例

長良川国際会議場

◆ 診断内容の要旨

- 投資不要な運用の改善によって年間約 739 千円の光熱費(CO₂ 排出量：3.5t-CO₂)の削減が見込まれる。
- 5年以下の投資回収期間で実施できる対策によって、年間約 2,413 千円の光熱費(CO₂ 排出量：37.8t-CO₂)の削減が見込まれる。

◆ 主な改善提案（投資不要・回収5年以下の提案）

改善提案項目	改善提案内容	削減額 [千円]	投資額 [千円]	回収年 [年]
1.冷温水機の冷水温度設定の見直し	空調負荷の小さい中間期に冷水温度を上げることで電力の削減を図る。	83	—	—
2.冷温水機の空気比の見直し	燃焼用空気量を適正な量に調整することで燃料の削減を図る。	31	—	—
3.事務室およびコントロール室の外気導入量の削減	外気導入を最適必要量として空調負荷を減らし省エネを図る。	18	—	—
4.コントロール室の冷房設定温度の見直し	事務室と同じ 26℃に設定することで、電力の削減を図る。	15	—	—
5.最大電力の低減	現在行っているピークカット対策に追加して、電気室空調を停止させてピーク電力を抑制する。	329	—	—
6.力率の改善（自動力率調整装置の運用改善）	自動力率調整装置の設定を変更することにより、力率を改善する。	263	—	—
7.蛍光灯のLED化	稼働率の高い部屋の蛍光灯を LED 化することで省エネを図る。	723	1,710	2.4
8.水銀灯のLED化	稼働率の高い部屋の水銀灯を LED 化することで省エネを図る。	517	1,730	3.3
9.空調設備ファンのインバータ化	ダンパで風量を絞るのではなく、インバータを導入して風量を調整することにより電力の削減を図る。	434	980	2.3
	合計	2,413	4,420	—

◆ 削減効果の見込み

光熱水費	<p>削減効果：2,478千円</p>	<p>施設外観</p>
CO ₂ 排出量	<p>削減効果：39.4 t-CO₂</p>	
原油換算	<p>削減効果：20.9kL</p>	

◆ 他にも適用できる施設例

- 冷温水機の燃焼用空気比や冷水温度の最適値が未検討の施設
- 換気における外気の導入について最適必要量が未検討の施設
- 冷房設定温度を緩和する余地のある施設
- 最大電力発生時に停止可能な設備・機器のある施設
- 力率の改善余地のある施設
- 水銀灯や蛍光灯を使用しており、LED化の余地がある施設
- 空調設備のファン等の動力機器についてインバータ化の余地がある施設